

山口県立総合医療センター新病院開院支援業務 公募型プロポーザル審査について（審査講評）

山口県立総合医療センター新病院開院支援業務
プロポーザル審査委員会
委員長 武藤正彦

山口県立総合医療センター（以下「センター」という。）は、本県の高度専門医療や政策医療に関し、県の基幹病院として、県民に質の高い医療を継続的・安定的に提供してきました。当センターは、将来にわたって、山口県医療の中核的役割を担うための機能強化を実現できるよう、新病院の移転新築整備に係る基本方針や部門別の整備方針等をまとめた「山口県立総合医療センター施設整備基本計画」（令和7年3月）を策定し、今年度から基本設計に着手したところです。

当センターが実施する新病院の建設に関し、高度な能力や豊かな経験を有する医療コンサルタントから、主として設計の段階で必要となる新病院の運営方法（ソフト面）の構築等に係る支援を受けることにより、円滑な開院と開院後の安定した病院運営及び健全な経営の実現を図る必要があります。

こうしたことから、本業務においては、価格面だけで判断するのではなく、新病院開院支援の実績や技術・知識のほか、多岐にわたる専門的知見、高い調整能力を求めるため、相手方の提案に基づき、技術力・経験及び業務体制などを含めた総合的な能力を評価して受託者を特定するプロポーザル方式を採用しました。

審査委員会において、公募型プロポーザル実施に係る手続、参加資格及び評価基準等を定め、令和7年4月4日に手続開始の公告を行ったところ、4者から参加表明をいただき、第一次審査では、各者とも、400床以上の病院の新築に係る新病院開院支援業務の受託・履行した実績を有しており、その実績のある技術者を配置するなど、優れた実績と体制を有していることが確認できたことから、参加表明のあった4者について、企画提案書の提出要請者として選定したところです。

第二次審査では、審査委員会がブラインド審査（会社名の記載なし）によりヒアリングを実施した上で、審査評価基準に基づき、多様な観点から、厳正、公正かつ慎重な審査を行った結果、最高得点者となったアイテック株式会社を本業務に適した受託候補者として特定しました。

最高得点となった受託候補者の企画提案については、基本構想・基本計画を十分

に理解し、当センターの目指すべき方向性や新病院の運営方法の構築等について、これまでの豊富な実績に裏付けされた具体的な提案がなされました。

さらに、基本計画に掲げる「全室個室化」に伴う病棟運営の見直しや外来部門における受付等の見直しに伴う看護体制強化の実現方法についても、最適化案や検討体制など、具体性のある提案がされており、高く評価されたところです。

その他の提案者からも、これまで培ってきた豊富な経験と技術力が十分に発揮され、優れた提案がなされました。

新病院を契機とした未来へつなぐ病院づくりへの道筋を示すものや、医療DXをあらゆる部門に取り入れた病院運営、現状をしっかりと分析し、持続可能な経営の視点を取り入れた新病院開院支援の手法など、それぞれ長所、短所などはありませんでしたが、いずれも提案者の優れた知見や熱意を感じるものでした。

ここに、本件プロポーザルに参加され、貴重な時間を費やして真摯に御努力いただいた関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。